

change over  
ごみを変える

環境にやさしい施設づくりスタート

# 留萌市一般廃棄物処理施設

建設工事着工

厚生年金・国民年金  
積立還元融資施設

環境にやさしい町。  
そして誇れる施設

資源循環型の施設整備とした総合施設「留萌市一般廃棄物処理施設」の着工式が七月九日行われました。近年における経済発展とともに日常生活が様変わりし、各家庭から排出されるごみの量は増え、多様化しています。

市民の環境向上とそれに伴う施設整備が緊急の課題となりました。

平成元年に基本構想を策定し、建設予定地の選定を行い、藤山町を建設予定地と判断し、施設の内容について地域の理解を求め、着工することができました。

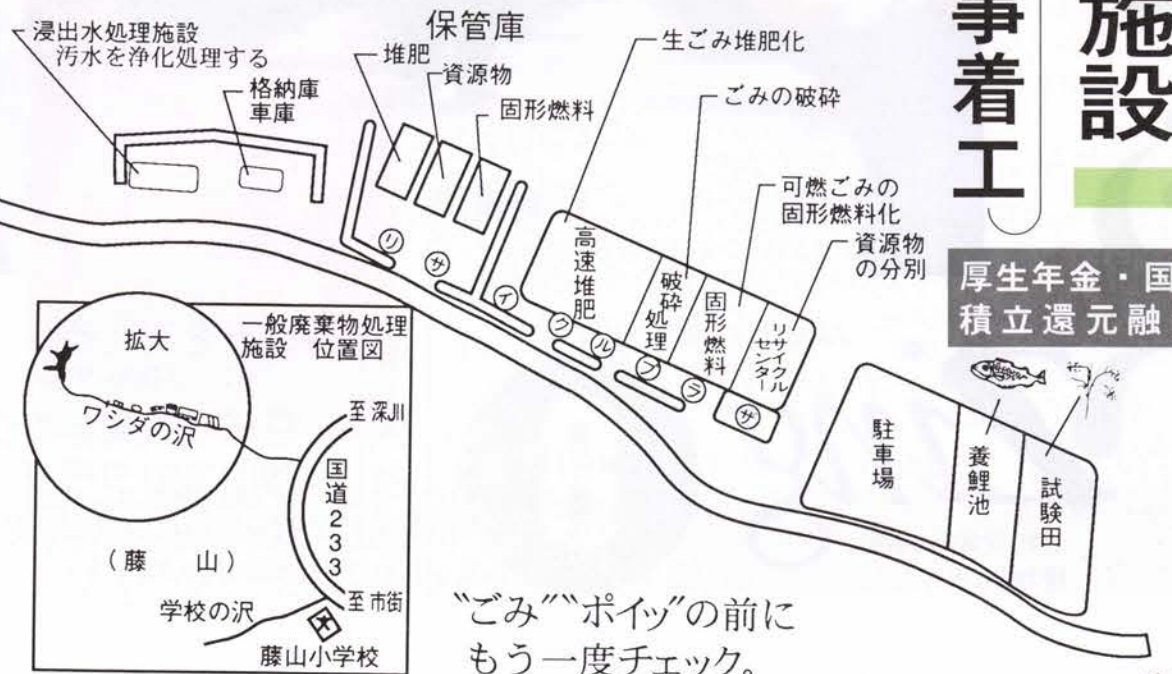
平成七年度から平成九年度までに最終処分場の整備を行い、平成十年度に全施設を供用開始する計画です。又、ごみの再資源化、減容化処理・処分施設の整備を行います。



リサイクルプラザの整備を行い、処分場の安定化、効果的・総合的な廃棄物処理を行い、資源循環型社会の確立と環境保全を図っていきます。

地球的視野からの環境保全・省資源・省エネルギーをめざし、ごみの適正な処理のため、ごみの発生を今一度考え、資源化・再生利用の推進をし、生産・流通・消費に至る、それぞれの段階でのごみの減量化が求められます。

「リサイクル時代に対応した  
環境学習機能をもった施設です」  
平成10年度全施設 完成予定  
供用開始



“ごみ”“ポイ”の前に  
もう一度チェック。

## 施設の整備内容

### 一、リサイクルプラザ

- ① 固形燃料化施設  
可燃ごみを固形燃料化し、リサイクルプラザ施設内及び公共施設で利用をします。
- ② 高速堆肥化施設  
生ごみを堆肥化し、農地・市民農園・公共緑地で利用をします。
- ③ 粗大ごみ処理施設（破砕処理施設）  
粗大ごみ及び硬質プラスチックをこまかくかさばらないようにします。
- ④ リサイクルセンター施設  
分別収集された資源物について、紙類（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック）、缶類（アルミ缶・スチール缶）、ビン類（二升ビン・ビールビン・飲料水ビン）の再資源化をはかります。

### 二、最終処分場

- ① 埋立処分場  
リサイクルプラザで資源化できないごみを埋立てるため、埋立面積15,000㎡、埋立面積80,500㎡の規模で通気配水管を有する準好気性埋立を採用し、埋立地内部には全面遮水シート張りの管理型処分地とします。
- ② 浸出水処理施設  
埋立処分地から出る浸出水30㎡/日を生物処理（回転円板方式）、砂ろ過、活性炭吸着による高度処理をして河川に放流します。

汚水調整池  
埋立地からの汚水を一時貯留する



## 今後の分別収集の進め方 モデル地区から全市に向かって!!

平成4年度	北部地区	650世帯 [元町・春日町・船場町]	4種類（資源ごみ・危険ごみ・粗大ごみ・一般ごみ）	平成8年度から 7種類プラス1
平成5年度	南部地区	500世帯 [見晴町4～6丁目]		
平成6年度	西部地区	500世帯 [港町・幸町]		
平成7年度	東部地区	800世帯 [緑ヶ丘町・南町] 9月初旬～		
平成8年度	中央地区	500世帯 [栄町・開運町]	7種類	

[平成10年度新処理施設 [リサイクルプラザ] には全て分別搬入する]

## 7種プラス1(ワン)の区分一覧

ごみの種類	分別の名称	処理施設等
1 生ごみ	堆肥ごみ	高速堆肥化施設 [農地還元]
2 可燃ごみ	固形燃料ごみ	固形燃料化施設 [燃料利用]
3 不燃ごみ	一般ごみ	破砕施設・埋立処分 [減容処分]
4 資源ごみ	資源物	リサイクルセンター再資源化 [リサイクル]
5 危険ごみ	危険ごみ	再資源化・処理専門業者 [リサイクル]
6 粗大ごみ	粗大ごみ	破砕施設・埋立処分 [減容処分]
7 硬質プラ	硬質プラごみ	破砕施設・埋立処分 [一部リサイクル]

※プラス1とは、廃食用油の別回収による再資源化引渡し

7種類分別の開始時期はいつ  
平成9年度の全市開始は7種プラス1(ワン)で実施予定  
平成8年度には全モデル地区で7種プラス1(ワン)に切り替え予定  
分別の排出方法はどのように  
7種分別は、袋によって区分「色や大きさ・材質など」して排出することになる予定です。

